

活用型情報モラル教材



活用の手引

本書の使い方

3つのポイント

① 情報活用と情報モラルをセットで学ぶ

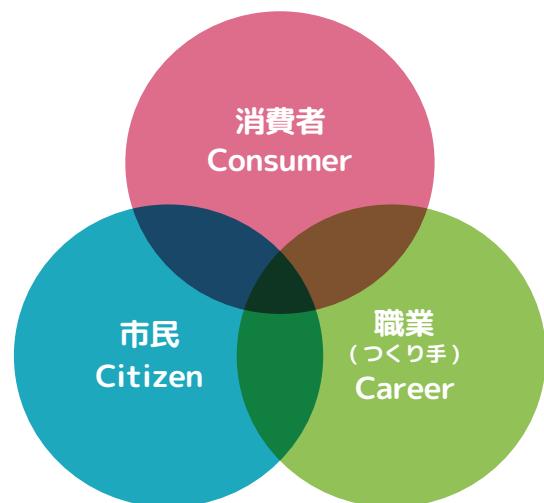
これまでの情報モラル教育は、情報のリスクのみが強調されることが多くありました。本教材では、リスクだけでなく、上手な情報活用の方法をセットにして学ぶことができます。例えば、端末を使って写真を撮る場合には、写真を撮るときの上手な撮り方と、写真を撮るときのマナー、さらにはトラブルを防ぐための方法やトラブルがあった場合の対応なども学ぶことができます。

② 50分でも15分でも実施できる

これまでの情報モラル教育は、学級活動や道徳、総合的な学習の時間などを使い、50分で実施するケースが多くありました。もちろん、50分でじっくりと考えることも重要ですが、本教材はそれに加えて、ICTの活用場面（写真を撮る、調べる、共有する…）において、モジュール（15分）を利用して、短く情報モラル等を学べる教材となっております。ぜひ、ICT活用の前後でご活用ください。

③ 3C（消費者、市民、職業人・つくり手）の視点で考える

これまでの情報モラル教育は、個人がどのようなモラルを身に付けるか、個人がどのようにリスクを回避するかという視点でつくられていました。本教材では、この視点を拡張し、3C（消費者：Consumer、市民：Citizen、職業人・つくり手：Career）の視点で作成しています。よき消費者として、リスクを回避し上手に使うことはもちろん、よき市民として、情報社会に参画し、社会に働きかける、よき職業人・つくり手として、新しい情報社会をつくっていくことを目指しています。



内容一覧

本編ページ	内容	
1	情報モラルを学ぼう(50分授業)	
2	社会の変化と情報モラル	
6	自分と相手との違い	
9	こんなつもりじゃなかったのに	
12	生活を見直そう	
15	災害時のSNSの使い方①	
18	災害時のSNSの使い方②	
21	災害時のSNSの使い方③	
24	「信頼」と「信用」	
27	「見えないお金」と上手につきあおう	
30	複利的思考を身につけよう	
34	SNSによる情報発信のリスク	
38	新しい情報技術とのつきあい方を考えよう	
42	情報活用能力を身に付けよう(15分授業)	
44	使う前に	WEBアプリやクラウドを活用しよう
46		AIと探究的な学び
48		リスクマネジメントを身に付けよう
50		クライスマネジメントを身に付けよう
55	写真を撮る	目的に合わせて上手に写真を撮ろう
57		ショート動画の絵コンテをつくってみよう
59		どこまで写真を公開してもよいのかな
61		リスクの低いプロフィールをつくろう
66	調べる	先行事例や先行研究を調べよう
68		調べるべき「よい問い合わせ」を考えよう
70		情報の信頼性の確かめ方
72		どこまでが広告なのかな?
77	考える	アンケートの質問項目をつくろう
79		問題を深く分析してみよう
81		ルールの「ズレ」を考えよう
83		盗用を防ぐには
88	共有する	情報を上手に共有するには
90		発表を客観的に評価してみよう
92		批判と非難はどう違う?
94		チャットの悪口、どう止める?
99	つくる	見やすいデザインを考えよう
101		タイトルを考えよう
103		著作権はなんのため?
105		知的財産をどう守る?
110	交流する	多様な人たちと交流しよう
112		新しいアイデアを生み出す交流のまとめ方
114		どこまで伝えてよいのかな?
116		セキュリティを見直そう
121	家で使う	学習で上手に活用しよう
123		生成AIを保護者と一緒に体験してみよう
125		タイムマネジメントを身に付けよう
127		使いすぎてしまう時は
131	保護者の方へ	
132	ケータイ・スマホトラブル分類表	
133	家庭のルールを考えよう	
136	フィルタリングとアプリの設定	
138	インターネットにおけるコミュニケーションの特性	

よくある質問

Q. 50分の教材と15分の教材の違いはなんですか？

本教材には、50分で情報モラルを学ぶ教材と15分で活用スキル、情報モラル、情報セキュリティ・トラブル対応を学ぶ教材があります。50分で学ぶ教材は、HRや総合的な探究の時間などの時間を使ってじっくりと情報モラルについて考えることができます。15分で学ぶ教材は、各教科等で端末を使う場面で必要なものをサッと学ぶことができます。情報モラルだけでなく、上手に活用する方法やトラブルにあってしまった時のことも学べますので、必要に応じてご活用ください。

Q. どのような順番で進めればよいですか？

本教材は、最初から順番に進める必要はありません。例えば、活用場面で選んでいただき、写真を撮ったり、共有したりする場面でご活用いただいたり、トラブルで選んでいただき、トラブルを防ぎたい時にご活用いただいたりすることも可能です。15分・50分と区切りがあるので、学校の年間カリキュラムに差し込むこともできます。

Q. 自主学習でも利用できますか？

本教材は、自主学習でもご活用いただけますが、ドリル学習のように一問一答形式ではありませんので、おすすめは、授業の中で、個人で考えてからグループで共有する方法です。正解を学ぶのではなく、どのようにすれば上手に使えるのか、何がリスクなのかについて生徒達が話し合っていくことで、多様な考えに触れることを目的としています。

Q. 学校でのトラブルに対応していますか？

対応しています。活用の手引には、#端末の破損、#勝手に写真を撮る、などのように様々なトラブルのタグがありますので、そちらを参考にしていただき、授業内容をご検討ください。

Q. デジタル・シティズンシップ教育に対応していますか？

対応しています。本教材では、3C（消費者、市民、職業人・つくり手）の視点から教材を構成しています。「消費者」としてモラルを身に付け、リスクから身を守ることはもちろんのこと、「市民」として情報社会に参画し、社会に働きかけること、さらには、「職業人・つくり手」として、新しい情報社会をつくっていくという内容が入っています。これらは、発達段階によって内容の比率が変わっており、小学校は消費者の内容、中学校では市民の内容、高校では職業人・つくり手の内容が多く含まれています。

はじめに

端末の基本的な操作方法や家庭及び学校で使用する際のルールについて、説明しています。
これから扱う膨大な情報量を収集・発信できる端末について、①生徒達が情報モラルを考えていけるよう、②長時間使用による視力の低下等、健康上の観点からも、まずは使用する前にルールを定めましょう。

端末を使うときの姿勢

- 授業中の読み書きと同じように、端末を使うときの姿勢は大切です。視力低下や姿勢が崩れないためにも、正しい姿勢で扱えるようにしましょう。



健康チェック表

- 端末を長時間利用することでの健康被害も心配されています。特に、目の状態、筋肉や関節の状態、ストレスの状態を定期的にチェックするようにしましょう。また、保健室の先生や保護者の方とも連携しながら指導にあたるようにしましょう。

健康チェック表			
チェック項目		当てはまるものを選びましょう。	
目の状態	1 目が疲れる。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	2 目がチカチカする。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	3 見ついていると文字や絵がぼやけたり、読むのが難しくなる。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
筋肉や関節の状態	4 坐っている時に、背中が痛い。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	5 坐っている時に、腰が痛い。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	6 肩がこる。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	7 間が疲れ、痛みがある。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
ストレスの状態	8 着れない。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	9 イライラする。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々
	10 着できない。	<input type="checkbox"/> いつも	<input type="checkbox"/> 時々

「いつも」や「時々」を選んだ入へ

・時々目を開けて、目を休ませましょう。
・まだ起きすぎないようにしましょう。
・寝起きが遅い（朝より寝ていい）と感じたら、保健室の先生や保護者の方に相談しましょう。

・体をほぐすストレッチをしましょう。（両を回す、頭をせる、背伸びをする）
・よい寝物で寝ましょう。
・寝起きが遅い（朝より寝ていい）と感じたら、保健室の先生や保護者の方に相談しましょう。

・寝る前には、深い光を出す電子機器（タブレット、スマートフォンなど）を使わないでください。
・電子機器（タブレット、スマートフォンなど）を使う時間は少なくしてください。
・寝起きが遅い（朝より寝ていい）と感じたら、保健室の先生や保護者の方に相談しましょう。

授業のねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

授業の流れ（50分）

時間	学習活動	準備物等
----	------	------

25分

1. カードで学ぼう①

- ・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 ○カード教材

あなたが、クラスの友達から言われて「嫌だ」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

- ・カードの中から1枚を選ばせ、グループの全員が見えるように提示させる。

嫌だと感じた理由を書きましょう。

- ・グループで理由を説明し合わせる。

他の人に意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。

- ・クラスで共有させ、気が付いたことを発表させる。
- ・ネットの特性を読み上げ、「真面目だね」の文字だけで伝えられた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて書いた考えを説明させる。

20分

2. カードで学ぼう②

- ・カードを裏返すように指示する。 ○カード教材

あなたが、SNSでクラスの友達からされて「嫌だ」と感じる順に並べてみましょう。

- ・5枚のカードを、「嫌だ」と感じる順に並べさせ、グループの全員が見えるように提示させる。

一番嫌だと感じるカードを選んだ理由、一番嫌ではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

- ・グループで理由を説明し合わせる。
- ・クラスで共有させ、理由を発表させる。

たかしさんと花子さんに、どんなトラブルが起きる可能性があるか、考えてみましょう。

5分

3. まとめ

- ・家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。

授業のねらい

- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気付き、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考え方や気持ちを相手に伝える方法について考える。

授業の流れ（50分）

時間	学習活動	準備物等
----	------	------

5分

1. 導入

- ・トーク内容を読み上げながら、状況について確認する。

どちらがトラブルになるリスクが高いでしょうか。

- ・グループで発表し、クラスで共有する。
- ・今日の授業では、「『こんなつもりじゃなかったのに』とならないために『リスクを見積る力』を身に付けること」を伝える。

20分

2. カードで学ぼう

- ・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。

○カード教材

このあと、どうなるでしょうか。

- ・それぞれのトークを15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想して、分類する。
- ・その際、自分だけではなく、グループ内の他者がどのように感じるかも考える。

20分

3. 判断の根拠を共有しよう

- ・判断の根拠になった部分を赤で囲む。
- ・グループで判断した理由を発表し、気付いたことを記入する。

○カード教材

「こんなつもりじゃなかったのに」とならないためには、どうすればよいでしょうか。

- ・メッセージを送る時、見る時、どんなことに気を付けたらよいかを考える。

5分

4. まとめ

- ・家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。

授業のねらい

- ・災害時の情報の見極め方を考える。
- ・SNSを通じて防災に貢献できることに気付き、防災への意識を高める。

授業の流れ（50分）

時間	学習活動	準備物等
----	------	------

15分

1. 情報防災訓練をやってみよう

あなたの住む街（田山市）に大型の台風が近づいてきています。あなたは家族と一緒に自宅の2階にいて、スマホで様々な情報を集めています。下の4枚のカードの情報について、信頼性が高いかどうかを分類してください。

○カード教材

- ・11:50の情報として①～④のそれぞれのトークに書かれた情報を読み、信頼性が高いかどうかを分類させる。
- ・グループ、クラスで共有させる。

15分

2. 情報防災訓練をやってみよう

時間が経ち、台風が通過したようです。
下の4枚のカードの情報について、信頼性が高いかどうかを分類してください。

○カード教材

- ・19:10の情報として⑤～⑧のそれぞれのトークに書かれた情報を読み、信頼性が高いかどうかを分類させる。
- ・グループ、クラスで共有させる。

15分

3. 情報をどう見極めるか

- ・どこに注目して情報を見極めればよいかを考えさせる。

情報は、「だいふく」で見極めよう
だ…誰が言ったのか
い…いついったのか
ふく…複数の情報を確かめたのか

- ・①～⑧のトークの情報を「だいふく」で考えさせる。

5分

4. まとめ

- ・家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。

授業のねらい

- 「ネットの特性」を理解し、情報発信の際のリスクに気付く。
- 自分が被害者や加害者になることを予防するために、自撮り写真に関する「法的知識」を学ぶ。

授業の流れ（50分）

時間	学習活動	準備物等
10分	1. 考えてみよう① 発信する際のリスク <ul style="list-style-type: none"> 3～5名のグループとなる。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> 「カフェに行ったこと」を投稿したいと考えている場合、どんな写真を発信するとリスクがあるか考えてみましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 個人で考えさせた後、グループで理由を説明させる。 	○カード教材
20分	2. 考えてみよう② どのように対応する？ <ul style="list-style-type: none"> カフェに行った写真をSNSに投稿したところ、メッセージが送られてきた場合の対応方法を考えさせる。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> もし、写真を要求されたら、どのように断るか考えてみましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 個人で対応方法を考えた後、グループで対応方法を説明させる。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> もし、この後、トラブルに巻き込まれそうになったら、どのタイミングで誰に相談するかな？ </div> <ul style="list-style-type: none"> 個人でどのようなトラブルに合う可能性があるかを考え、相談相手や相談するタイミングをグループで共有させる。 	
15分	3. 考えてみよう③ 犯罪のリスクの判断 <ul style="list-style-type: none"> SNSに関する法律について考えさせる。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> 罪に問われることか、問われないことが考えてみましょう。 また、罪に問われる場合はその罰則も考えてみましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 個人で考えさせた後、グループで考えを共有させる。 	○カード教材
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none"> 3つのワークから学んだ「SNSによる社会への発信」のリスクとポイントを伝える。 	

ねらい

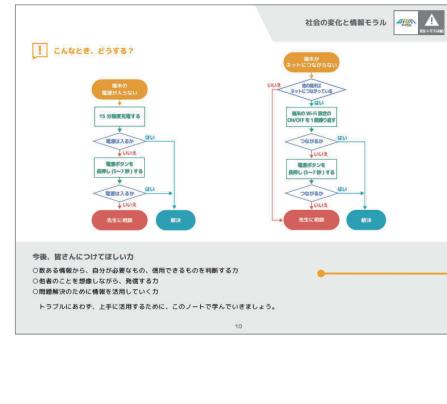
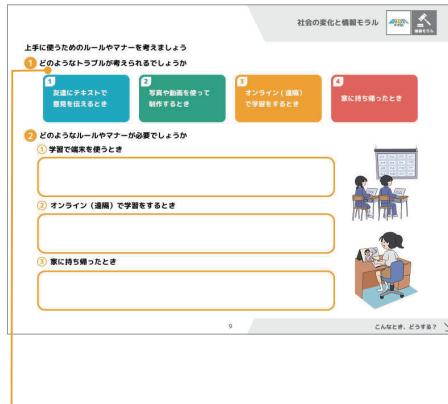
- AIやIoT、ロボットなどの発達で自分たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。
- 端末を使用した学びのイメージを膨らませ、そこで大切にすべきことを考える。
- 端末を活用する際に想定される様々なトラブルについて考える。
- 端末を上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとする。



・便利になっていればよいことについて、家や学校といった場所の視点、スポーツ・勉強・遊びといった活用の視点、お年寄りや子どもといった人の視点など様々な視点から考えさせる。

・家庭での学びについては、端末を持ち帰ることができかどうかなど、各学校の実態に応じて内容を説明する。

・中学校では端末は学校から貸与されたもの、高校では家庭で購入したものであることを確認し、学びのために使うこと、そして大切に使うことの重要性を伝える。



次のようなことに気を付けさせる。

- テキストメッセージで悪口を書く
- 勝手に人の写真を撮る
- 著作権を侵害するような写真や動画を使う
- オンライン学習中に勝手に友達の写真を保存する
- オンライン学習中に指示と違うことを行っている
- 目を近づけて、長時間使用する
- 遅い時間まで使用する

・パスワードの管理は今後も必要になってくることであり、できるだけ推測されにくいものをつくり、他人に伝えないようにすることの重要性を伝える。また、端末を使用する姿勢や長時間使用による眼精疲労に注意させる。

自分と相手との違い

学活

総合

道徳

国語

ねらい

- 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- 文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

P6のモデル
指導案を参考に
してください。

自分と相手との違い

あなたが、クラスの友達から言われて「嫌だ」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

① 真面目だね
② おとなしい
③ 一生懶れだね
④ 個性的だね
⑤ マイペースだね

⑥ どうなにに気が付きましたか。

⑦ 「人によって感じ方が違う言葉」には、他にどのような言葉がありますか。

11 「嫌だ」と感じること

自分と相手との違い

あなたが、SNS等でクラスの友達からされて「嫌だ」と感じる順に並べてみましょう。

① すぐに直感が
来る
② なかなか会話が
続かない
③ 嫌なににこうじ
て自分の私顔が
出ている
④ 話してないときに
カードで、ステキ
をされている
⑤ 遊びが一緒に
写っている写真
を公開される

嫌だ ← → 嫌ではない

⑧ 一番「嫌だ」と感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

⑨ 一番「嫌ではない」と感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

12 ネットの特徴

自分と相手との違い

たかしさんと花子さんに、どのようなトラブルが起きる可能性があるか、考えてみましょう。

⑩ ネットの特性

文字だけではあると、そのときの「感情」が伝わらないので、相手に誤解されることがあります。例えば、「真面目だね」と言う場合には、そのままの意味や感情で聞かれたら、相手は「真面目だね」の原因を理解します。しかし、文字だけでは「真面目だね」と伝えると、自分の表情や声調や相手に合わせないので、自分が伝えたかった「真面目だね」の意が誤解されてしまう場合があります。

13

- 自分の「嫌な言葉」が相手の「嫌な言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「嫌な言葉」を共有させる。

- 自分が「嫌ではない」と思っていたことが、相手にとっては「嫌なこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにさせる。

- 「自分が一緒に写っている写真を公開される」がトラブルになる可能性があることに気付かせる。
- 「真面目だね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演し、考えさせる。

こんなつもりじゃなかったのに

学活

総合

道徳

ねらい

- コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気付き、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考え方や気持ちを上手に相手に伝える方法について考える。

P7のモデル
指導案を参考に
してください。

こんなつもりじゃなかったのに

AのトークとBのトークでは、どちらがトラブルが起こるリスクが高いでしょうか。

1 本会話 (24) クラスでのグループトーク
今日は、おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

2 ①で選んだ理由を書きましょう。

3 このあとどのようなトラブルが起きる可能性があるか考えてみましょう。

14 トーキングはどうな?

こんなつもりじゃなかったのに

下の5つのトークはこのあと、それぞれどのような問題になるか手筈してみましょう。考える時間は各カード15秒です。手筈した5つのトークを下の4種類に分類してみましょう。

4 ④ 1 2 3 4 5

1 おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

2 今日は、おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

3 おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

4 おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

5 おもしろいが
空き時間の間でね
たかし

15 そのように書いた結果は

こんなつもりじゃなかったのに

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

○のように分類した結果となる部分に○に付けましょう。○は何か所付けても構いません。また、○に付けた理由を書きましょう。

○ 理由

○ 分類したカード近くの友達と見せ合い、違いを確認しましょう。
また、違う部分に関して、なぜそう思ったのかを話し合い、気付いたことを書きましょう。

16

- 同じトーク内容でも、1対1の場合と、1対34（クラスでのやり取り）の場合では、人数が多いほど、多様な捉え方をする人が増えるので、自分の意図とは違う捉え方をされる可能性が高まることに気付くようになる（グループメッセージでは「真面目」という言葉が異なる意味で伝わるリスクが高くなっている。）。

- 5つのトークをそれぞれ15秒で「この先、グループの会話はどうなるか」を予想させる。

- 判断の根拠を共有することで、危険（リスク）を予想する際の判断の視点に気付くようにする。例えば、グループのサイズ（人数）、画面キャプチャ（画面全体を静止画で保存すること）での写真転送、送信時間、メッセージの内容など、判断の視点を説明する。

生活を見直そう

体育(保健) 総合 学活

ねらい

- 自身の行動を記録して、ネットやゲームの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- 使いすぎないためのルールを考える。

17 選択肢

18 選択肢

19 選択肢

- ネットやゲームを「使いすぎ」てしまう経験を共有させる。
- 1週間の時間の使い方について記録させ、友達や家族と共有させる。
- 1週間のネットやゲームに費やした時間を計算させ、もしその時間を他のことに使うとしたら、何に使えるかを考えさせる。

・1週間の記録を見直し、どうすれば改善できるかを考えさせ、もう1週間、記録を継続できるとよい。

・チェックリストを実施し、自分が使いすぎてないかどうかを判断させる。ただし、チェックが多い生徒が一概に「ネット依存」とは言えないことに留意する。（あくまで参考として扱う）

災害時のSNSの使い方①

学活 社会 総合 道徳

ねらい

- 災害時の情報の見極め方を考える。
- SNSを通じて防災に貢献できることに気付き、防災への意識を高める。

P8のモデル
指導案を参考にしてください。

20 11:50の情報

21 19:10の情報

22 情報をどう判断めるか

- ①は市役所のアカウントで公式マークがあり、情報の信頼性は高いと言える。②の情報だけだと、本当に大学の先生かどうかはわからない。③もこれだけだと本当かどうかわからぬ。④のように誰から聞いた情報は信頼性が低く、複数の情報を確かめる必要がある。

- ⑤も伝聞であり情報の信頼性が低い。この情報にはコメントがたくさんついているのでそれらをよく確認することも重要。⑥はいろいろな防災情報をまとめたものだが、確証性を高めるために複数の情報を確かめる必要がある。⑦はニュースサイトの公式マークがあり、信頼性は高いと言える。⑧は発信された時間に注意。11:50の時点では避難が必要だが、19:10にこの情報を拡散してしまうと、間違った情報になる可能性がある。

災害時のSNSの使い方②

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- ・災害時の情報の見極め方を考える。
- ・SNSを通じて防災に貢献できることに気付き、防災への意識を高める。



- ・①は情報発信より自分の安全を確保することを優先するべき。②は自宅の位置情報が特定される可能性があるので注意する必要がある。③は信頼性の高い情報元からの情報を提示しているところがよい。④のようにどこがどのような状況なのかを伝えるのは防災の観点から有効。

- ・⑤は友達の自宅の位置情報が特定されてしまうので発信は控えたほうがよい。⑥は情報元の提示がないので情報の信頼性が低い。⑦は、田山橋下が水没しているという具体的な場所がわかり防災の観点から有効。⑧の倒木はどこの場所なのかがわからない。

災害時のSNSの使い方③

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- ・災害の種類によって必要な情報が変化することを意識させる。
- ・災害時に信頼できる情報をどのように入手し、共有するかをあらかじめ考えておくことの重要性に気づかせる。



- ・台風のような「あらかじめ予測できるような災害」と地震のような「予測が難しい災害」では、必要な情報が違ってきます。台風では、避難に関する情報をあらかじめ考えておくことが重要です。しかし、地震では、自宅以外の場所で被災する可能性もあり、家族との安否情報の共有なども重要になります。どちらの場合でも、最新の情報を確認することが重要になります。あらかじめ、どのように情報を収集・共有するかを考えておきましょう。

- ・自宅近くの被害想定の情報や自宅近くの避難経路の情報などは、「行動する前に確認しておく情報」になります。また、避難所の最新情報、警戒情報、被害状況、気象情報、交通情報、インフラの情報などは、「信頼できる最新の情報」になります。さらに、家族などの安否情報や避難状況などは、「共有するための情報」になります。こうした情報をどのように得ることができるかを考えて、「情報防災バッグ」として準備することが大切です。

「信頼」と「信用」

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- 具体的事例を通して、混同しがちな「信用」と「信頼」の違いを考えることで、信用とは何かを考える。

「信頼」と「信用」

あなたが「生徒会選挙」で投票するときは、何を基準しますか？
投票するときに重視する順にならべてみましょう。

1 見た目が
まじめそう
2 勉強や仕事が
できる
3 提出物を
きちんと出す
4 日曆や夢を
持っている
5 結婚方が上手

重視する ← → 重視しない

お金を貸すときに重視する順番

2 検察、あなたは「お金を貸す仕事」につきました。
お客様にお金を貸すとしたら、何を重視しますか？
重視する順位にならべてみましょう。

1 見た目が
まじめそう
2 勉強や仕事が
できる
3 提出物を
きちんと出す
4 日曆や夢を
持っている
5 結婚方が上手

重視する ← → 重視しない

「信頼」と「信用」

信頼 未来の行動を信じ期待する。
判断は、精神的・主観的・相対的な面がある。

信用 過去の実績や成果に基づく。
判断は、物質的・客観的・一方的な面がある。

「信頼」と「信用」

「信頼」と「信用」は、似ているところもあります。「信頼」とは、生活者側が、事業者側の行動や意図を理解するための概念になります。「信頼」や「信用」はどちらも仕事をしていかか、誠実さをきちんと伝えるなどの評価や事業が重視され、判断は物質的、客観的、一方的な面があります。

一方、「信頼」とは、他人の行動や意図をもとに、過去の経験や感覚に基づいて信頼があります。裏表では、見た目や机の汚さから、きちんと仕事をしているか、誠実さをきちんと伝えるなどの評価や事業が重視され、判断は物質的、客観的、一方的な面があります。

これらの場合は、特に「信頼」が大きくなくなります。例えば、過去に携帯電話の料金を支払ってないのにびっくりする。例えば、お店や事業者の高い貢献度をうなづけるから信頼することができます。

- 「生徒会選挙」と「お金を貸す仕事」の2つの場面で何を重視するかを比較させ、信頼と信用のちがいについて考えさせる。どちらの場面が「信頼」の意味に近く、どちらの場面が「信用」の意味に近いかを考えさせることで、信頼とは何か、信用とは何かについて考えさせる。

- 「信頼」とは、未来の行動を信じ期待する、判断は、精神的・主観的な面があり、「信用」とは、過去の実績や成果に基づき、判断は、物質的・客観的な面があることに気づかせる。例えば、「信用」金庫はあるが、「信頼」金庫はないように、特にお金に関する問題は「信用」が重要であり、信用を積み重ねることの重要性について気づかせる。

「見えないお金」と上手につきあおう

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- キャッシュレス決済のメリット・デメリットを様々な立場から多面的に考えることで、「見えないお金」と上手につきあい方を考える。

「見えないお金」と上手につきあおう

お金を使わないキャッシュレス決済は、メリット・デメリットがあります。
次のカードで、お店（事業者）と消費者の視点から、メリット・デメリットでわけてみましょう。

① みんながカードで支払うのが
わかる
② お金を手に取
りやすい
③ 金額がすぐに
わかる
④ 金額を手に取
りやすい
⑤ 金額を手に取
りやすい
⑥ デジタル
マネー

⑦ そんな人
柄に持っていかれ
われる
⑧ 金額での
不満がなくなる
⑨ 金額が
見えること
がある
⑩ 使える人と
使えない人がいる
⑪ ついついお金を
使っててしまう
⑫ しばらくして
お金が違う
買えるのが大変

お店・事業者 どちらにもあてはまる 消費者

メリット
デメリット

30 ポイントを貰ふメリット

31 ポイントを貰ふこと

「見えないお金」と上手につきあおう

❶ 分野で「6：ポイントがもらえる」はどうらにとってもメリットがあることがあります。

❷ なぜ、お店・事業者はポイントを配るのでしょうか。

❸ 「消費者」として、キャッシュレス決済を使う場合に、気をつけなければならないことはなんでしょうか？

「信頼」と「信用」

キャッシュレス決済が今となっては当たり前のようになり、私たちの生活を便利にしてもらっています。特に消費者のメリットとしては、現金を持ち歩かなくて済むなど便利な手軽さや衛生面での不安がなくなるなどなどがありますが、ついでお金を使うとしても簡単になります。

特に重要なのが「ポイント」です。ポイントを貰ることは消費者のメリットとされていますが、お店や事業者の視点に立てば、自分のお店で使う人がポイントを貰ふことで、お店のビーターになってもらったり、ポイントキャンペーンで高額な賞品をもらったりやすくなったりします。

- 日本では、現金を落としても返ってくる「治安のよさ」や偽札かどうかを気にしなくてもよい「日本円の信用の高さ」などからもキャッシュレス決済が広がらない要因であることにも触れながら、消費者、事業者のそれぞれの立場から、メリット・デメリットを考えさせる。

- ポイントはお店や事業者側にもメリットがあり、ポイントを配することで、次からもそのサービスや決済方法を使おうとする消費者を増やすことができるという点を意識させ、きちんと管理していくことの重要性ときちんと管理できないと、それがあなたの実績になってしまい、信用を得ることができなくなることも意識させる。

複利的思考を身につけよう

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- 「複利」ではなく、「複利的思考」を理解することを目指し、情報の拡散などの身近な複利的事例を扱い、期間によって単利と複利では大きな差がでることをイメージさせる。

The first screenshot shows a conversation between two characters. One says: 「人の底力が、複利の力の100倍の力をもたらすことがあります。それが複利です。」 The second character responds: 「どちらのほうがよくお金もらうのでしょうか？」 The second screenshot shows a graph comparing simple interest (linear growth) and compound interest (exponential growth).

- Aさんのように元の値に影響されず、増えていくことを「単利的」、Bさんのように元の値が次の値に影響して、増えていくことを「複利的」と言うことを押さえる。単利的と複利敵を比べると、期間が短いと差は少ないが、期間が長いと差は大きくなることに着目させ、もし、2ヶ月続ければ、もっと大きな差になることに気づかせる。

The first screenshot shows a card matching activity. The second screenshot shows a diagram comparing simple interest (linear growth) and compound interest (exponential growth). The third screenshot shows a graph illustrating compound interest over time.

- 複利的な考え方は、身近な現象にも当てはまるところを紹介するとともに、銀行にお金を預けたり、借りたりする場合には、金利が「複利」で計算されることを紹介する。特に、お金を借りる場合には、きちんと返済できないと、支払い総額が「複利」で増えてしまうことにも気づかせる。

SNSによる情報発信のリスク

学活

総合

道徳

技術・家庭

情報

ねらい

- 「ネットの特性」を理解し、情報発信の際のリスクに気付く。
- 自分が被害者や加害者になることを予防するために、自撮り写真に関する「法的知識」を学ぶ。

P9のモデル
指導案を参考にしてください。

The first screenshot shows a conversation between three characters. One says: 「SNSをやめるよりもSNSで問題となる情報発信を防ぐことが大切です。もし、他人の写真で使用している自分のSNSアカウントを持つことをお困りいただけますか？」 The second screenshot shows a diagram illustrating the risks of posting self-taken photos on SNS.

The first screenshot shows a card matching activity. The second screenshot shows a diagram illustrating the risks of posting self-taken photos on SNS. The third screenshot shows a graph illustrating the risks of posting self-taken photos on SNS.

- 人によってSNSで発信しても良いと思う写真が異なるということを気づくようにするため、グループやクラスで「SNSで発信しても良い写真」を共有させる。
- 悪意の有無がわからない相手から写真を要求された場合の対応方法について意見を共有し、認識せんとする。また、相談相手や相談のタイミングについても具体的にイメージさせ、具体的な対応方法のイメージを持たせるようにする。

- 悪ふざけであっても法律違反の行為にあたる可能性があることに気づかせる。
- 被害者や加害者になることを防ぐためにも、法律や各地域の条例についても確認しておくことの大切さを認識させる。
- SNSで情報を発信する際のリスクとポイントについて、ワークの内容を振り返りながら、認識させる。

新しい情報技術とのつきあい方を考えよう

学活

社会

総合

道徳

ねらい

- 生成AIなどの新しい情報技術とのつきあい方を考えることにより、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できる力を育てる。

- これからも新しい情報技術が生まれ、様々なサービスが生まれてくることに触れ、こうした新しい情報技術やサービスを上手に活用するためには、どのようなことに気をつけなければよいかを考えさせる。

①仕組みや規約の理解、②リスクの想像、
③利活用の方法の順で考えることが重要であり、リスクを考えずに活用することやリスクを過度に警戒しすぎて使わないことについて、意見を共有させる。

- 実際にいくつかの生成AIについて調べさせ。特に、その仕組みとメリットやリスクについて考えさせる。

生成AIでは、事実とは異なる内容や文脈と無関係な内容が生成されることをハルシネーション（幻覚）と呼び、インターネットなどから収集したビッグデータを学習するため、生成されたデータに偏りや誤った情報、古い情報が含まれてしまう可能性があることに気づかせる。



使う前に

端末を使う前に

はじめに

「端末を使う前に」では、端末を上手に使うために必要な基礎知識について学びます。特に、ブラウザで利用できるWEBアプリやクラウドサービスの上手な活用や様々なリスクに対応するためのリスクマネジメント、さらにはトラブルが起きた時にどう対応すればよいかというクライシスマネジメントについて学びます。

ここから、端末を使った学習がはじまります。
ここでは、端末を上手に使うために知っておくべきことや気を付けること、トラブルが起きた場合の対応について学びます。

最初にチェックしてみよう

□私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを知っていると思う
□私は、AIが得意なことや苦手なことを知っていると思う
□私は、端末を使った時に起こる危険について知っていると思う
□私は、トラブルが起きたときに適切に対応することができると思う

WEBアプリやクラウドを活用しよう

端末を使った学習では、WEBアプリやクラウドを活用する機会が多くなります。ここでは、WEBアプリやクラウドの仕組みに目を向けながら、普段、どのようなものを利用しているかについて考えます。WEBアプリやクラウドでは、インターネットにつながっていれば、どの場所でもどの端末でもそのサービスを活用することができますが、個人情報の取扱いやセキュリティに気を付ける必要があることも意識させます。

#使う前に #活用スキル #やってみよう #消費者 #つくり手

端末を使った学習ではWEBアプリやクラウドサービスを利用することがあります。WEBアプリやクラウドサービスでは、ネット（ブラウザ）さえ使える環境があれば、どの端末でも同じアプリやサービスを利用すること可能になります。
皆さん、端末で使うアプリサービスで、WEBアプリやクラウドサービスを利用していると思うものを見つけてみましょう。

見つけたもの

AIと探究的な学び

探究的な学びのプロセスは、「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」ですが、そのうち、AIで代替できるものはどれでしょうか。最近の生成AIでは、「〇〇について教えて」「〇〇についてまとめて」「〇〇をつくって」と言えば、ある程度のものを生成してくれるようになりました。では、生成AIにできることはなんでしょうか。本教材では、こうした「AI時代に人間に求められること」に気づくことを目的としています。

#使う前に #活用スキル #2分類 #消費者 #市民 #つくり手

次の4つの内容を、「AIが得意そう」と「AIが得意でないぞう」なものにわけてみましょう。

A: 探索検索
簡単に問題解決から複雑な問題を解決する

B: 情報収集
たくさんの人情報から必要な情報を収集する

C: 整理・分析
収集した情報を整理したり分析したりする

D: まとめ・表現
わかりやすくまとめて表現する

A: AIが得意そう A | B: AIが得意でないぞう

リスクマネジメントを身に付けよう

「リスク」は発生確率と被害度で考えます。被害度は甚大でも全く起きない事象よりも、被害度は低くとも頻繁に発生する事象の方が優先的に対応すべきリスクになります。ここでは、生徒達自身に自分のリスクを考えさせてることで、優先的に対応すべきリスクは何なのかに気付かせます。友達と共有しながら、リスクについて議論する機会とするとよいでしょう。

#使う前に #情報モラル #2分類以上 #消費者 #トラブル全体

端末を使うことで様々な便利さがある一方で、リスク（危険性）も存在します。リスクは、危険の「発生頻度」と危険が起きたときの「被害度」で考えます。そのリスクを適切に見極め、対応することを「リスクマネジメント」と言います。

次の内容について、皆さん自身に起きそうな確率と起きた場合の被害度で分類してみましょう。

1: 長時間利用 **2: 高齢者** **3: チャットで誤口を漏らす** **4: 知らない人の出会い** **5: リオスマホによる事故** **6: 製作の侵害**

自分に起きそう
→
被害が小さそう ←
自分に起ころなそう
↓



使う前に

端末を使う前に

クライスマネジメントを身に付けよう

トラブルが発生してしまった時にどう対応するか、という視点も大切です。ここでは、生徒達自身にトラブルが発生してしまった場合の対応方法について考えさせます。もちろん、解説で示された対応方法はケースバイケースになりますが、基本的な対応方法を身に付けさせ、困ったら大人に相談するということを意識させます。

#使う前に #情報セキュリティ・トラブル対応
#2分類 #消費者 #トラブル全体

クライスマネジメントを身に付けよう

リスクマネジメントでは「トラブルが起きる前にどのように防止するか」が重要ですが、「トラブルが起きた後にどのように対応すればいいか」を考えることも重要であり、これを「(クライスマネジメント)」と言います。
次の内容について、トラブルが起きた時に自分が適切に対応できるかどうか考えて、分けてみましょう。

- 1 携手に自分の写真がWEBに掲載された
- 2 SNSで知らない人からやなことを書かれた
- 3 WEBを見ていたときに迷惑なメッセージが表示された
- 4 ポットで注文した商品が届かない

適切に対応できる A | 不適切に対応できない B

まとめ

端末を上手に使うためには、「上手に使う力」とともに、「リスクに対応する力」を身に付ける必要があります。「トラブルは必ず起こるものだ」という意識を持ち、それらを起こさないための力（リスクマネジメント）と、それらが起こってしまった時に対応する力（クライスマネジメント）を身に付けてほしいと思います。

まとめ

よき使い手になるために

端末は、使おうと思えば、学習のためだけでなく、遊びにも使えてしまいます。
端末を学習や生活で上手に使うための方法とリスクへの対応を学び、有效地に活用しましょう。

チェックしてみよう

- 私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを説明することができます
- 私は、AIが得意なことや苦手なことを説明することができます
- 私は、端末を使った学習で起こる危険性について説明することができます
- 私は、トラブルが起きたときに適切に対応することができます

情報技術 × 社会問題

#つくり手 #情報技術 #社会問題の解決

現在、日本や世界では、気候、食糧、エネルギー、医療、労働、教育、多様性、災害など様々な社会問題が存在しています。これらの社会問題に対して、シビックテック（Civic Tech、シビック：市民+テック：テクノロジーの造語）と呼ばれるように情報技術で解決していくという試みもあります。ここでは、ぜひこうした情報技術を社会問題の解決に役立てるという試みを意識させてほしいと思います。

情報技術 × 社会問題

現在、日本や世界では、気候問題、食糧問題、エネルギー問題、医療問題、労働問題、教育問題、多様性の問題、自然災害など様々な社会的な問題が存在します。
このような社会問題について、情報技術を用いて解決していくという試みが行われています。

調べてみよう 現在、情報技術で社会問題を解決しようとする試みには、どのようなものがいるでしょうか？

話し合ってみよう 今後、どのような情報技術で、どのような社会問題を解決できる可能性があるでしょうか？



写真を撮る

はじめに

端末を使うと、様々な写真や動画を簡単に撮ることができます。上手に撮ることで、レポートに活用できたり、自分を表現できたりする一方で、写真にはたくさんの情報が詰まっているので、その情報を公開してしまうことのリスクも考えられます。ここでは、写真や動画の上手な活用方法とともに、リスクを意識した活用についても学びます。


写真を撮る

端末では、写真や動画で様々なモノなどを記録することができます。
ここでは、目的に合わせた上手な写真の撮り方や写真を公開する際のリスクなどについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、目的に合わせて上手に写真を撮ることができます。
- 私は、動画の絵コンテをつくることができると思う。
- 私は、SNSなどで公開範囲を考えて写真を公開することができると思う。
- 私は、トラップが起こりにくいプロファイルをつくることができると思う。

57

上手な写真の撮り方を学ぼう

#写真を撮る #活用スキル #実技 #消費者 #市民

「物撮り」写真は、学習のレポートなどに使うことはもちろん、不要となった自分の洋服などをフリーマーケットサイトに載せる際や自分が食べた美味しいご飯を紹介する際にも活用することが増えてきています。「物撮り」をする場合、「構図」、「角度」、「光」の3つを意識する必要があります。ここでは実際に試し撮りをすることによって、この3つのポイントをグループで確認してみるとよいでしょう。


目的に合わせて上手に写真を撮ろう

端末を使って上手に写真や動画を撮ることができますが、目的に合わせて、大きく撮るのか、全体を撮るのか、動画で撮るのかを決めるのがあります。
特に、レポートなどで、製品や商品、生物などのモノだけを撮る「物撮り」の写真を使うことがあります。
皆さんのお手本を使って、様々なモノ（植物など）を「物撮り」してみましょう。



ショート動画の絵コンテをつくってみよう

#写真を撮る #活用スキル #実技 #つくり手

最近の子どもたちには、ショート動画が身近な存在になっています。ただ動画を撮るのではなく、短い時間でどのようなことを伝えるかを考えながら動画を撮るために、本教材では、「絵コンテ」を描くことを目的としています。絵を描くことに時間をかけすぎないように、絵コンテではラフに描くことが重要であることを意識させてください。


ショート動画の絵コンテをつくってみよう

基礎体験学習で学んだことを詰めこめて事を紹介する15秒のショート動画をつくることにしました。
どのような動画をつくるか、空いているところを埋めながら絵コンテを書いてみましょう。

時間	絵コンテ	内容	出演者／楽曲
1 15P		オープニング ラースン君さんの外観	
2 15P		ラーメンの紹介	
3 15P		お店の人からの メッセージ	お店の人

どこまで写真を公開してもよいのかな

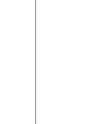
#写真を撮る #情報モラル #並び替え #消費者 #個人情報の公開

写真を公開することで、いろいろな人に写真を見てもらうことができる一方で、自分が予期しない情報を相手に伝えてしまうリスクもあります。ここでは、「公開するか／しないか」の0か1かの指導ではなく、「どこに公開したら、どの程度のリスクがあるのか」を考えさせることで、リスクを見積もる力を養います。判断した結果だけではなく、そう判断した理由も共有するとよいでしょう。


どこまで写真を公開してもよいのかな

次の写真を、A、B、CのそれぞれのSNSに公開した場合のリスクを考えてみましょう。



リスク小	→	リスク大
① 仲の良い友達しか見ていないSNS		
② 仲の良い友達とクラスメイトが見ているSNS		
③ 知らない人も見ているSNS		



写真を撮る

写真を撮る

リスクの低いプロフィールをつくろう

SNSなどで、「自分らしさ」を表現することはとても重要です。しかし、多くの人の目に留まると、それだけリスクも高まります。ここでは、あえて「リスクの低い」プロフィールを考えさせることで、「自分らしさの表現」と「リスク」のバランスを考えさせます。写真や文章など、どうすればよいバランスがとれるかを議論させるとよいでしょう。

#写真を撮る #情報セキュリティ・トラブル対応 #自由記述
#消費者 #市民 #個人情報の公開

まとめ

写真や動画には、たくさん情報が詰まっています。それは自分のことや伝えたいことを簡単にわかりやすく表現できるツールもあります。しかし、「リスクに対応する力」も身に付ける必要があります。「リスクがあるからやらせない」ではなく、「どのような、どの程度のリスクがあるのか」を考えさせることで、リスクに対応する力を身に付けさせてほしいと思います。

画像認識 × 社会問題

#つくり手 #画像認識 #社会問題の解決

現在、様々な場所で「画像認識・画像分析」に関する技術が使われています。こうした画像認識や画像分析は、社会問題の解決に寄与できる可能性がある反面、プライバシーや個人情報の問題も抱えています。ここでは、画像認識の現状を調べさせるとともに、どのような社会問題の解決に寄与できるか、そしてそこで発生する新たな問題についても考えることができます。



調べる

はじめに

端末を使って「調べる」という活動は、もっとも利用されている活用方法のひとつだと思います。いかに早く有益な情報を見つけ出せるかは、重要な情報活用能力のひとつです。ここでは、探究的な学習に必要な「先行研究」や「先行事例」を調べる方法や、情報を判断する方法、さらにはターゲティング広告についても学びます。

先行事例や先行研究を調べよう

調べる # 活用スキル # 実技 # 消費者 # 市民

探究的な学習では、問題を分析したり、新しいアイデアを考えたりすることがありますが、そのアイデアが本当に「新しい」ものなのかを判断する必要があります。そのためには、「今まで、どのような事例があるのだろうか?」について調べることがとても重要です。例えば、CiNiiを使えば、日本の論文を調べることができます。こうした学術的な調べ方についてもぜひ身に付けてほしいと思います。

調べるべき「よい問い合わせ」を考えよう

調べる # 活用スキル # 自由記述 # つくり手

「問い合わせ」を立てて調べるために、「よい問い合わせ」を立てる必要があります。検索すればすぐにわかるような「問い合わせ」は、「よい問い合わせ」とは言えません。本教材では、「いつ」「どこで」「だれが」「よりも」「なぜ」「どのように」「もっと」「もし」などの問い合わせが検索してもわからない「よい問い合わせ」になりやすいことに気づかせます。

情報の信頼性の確かめ方

調べる # 情報モラル # 実技 # 消費者 # 誤情報・デマ

情報を検索していると、様々なサイトを見つけることができます。しかし、それが本当に信頼性の高いサイトなのかどうかを判断しないと、誤情報やデマに騙されることになってしまいます。ここでは、あえて「信頼性の低い」サイトを探さることで、どのような点を意識して情報を見極めればよいかについて考えることができます。



調べる

どこまでが広告なのかな

調べる # 情報セキュリティ・トラブル対応
消費者 # つくり手

イラスト
広告誘導

検索サイトなどでは、自分の関心が高い広告が出てくることがあります。これには「ターゲティング広告」と呼ばれる手法が使われていることがあります。ターゲティング広告とは、ユーザーやコンテンツなどの情報を分析し広告を配信する手法のことです。検索したワードからそれに関連する広告を出したり、ユーザーが見たコンテンツからそれに関連した広告を出したりします。こうした仕組みについても考えさせるとよいでしょう。

どこまでが広告なのかな？

検索サイトで検索を行うと、検索結果とともに広告が表示される場合があります。次の検索結果の画面の中で、「広告」だと思うところを□で囲みましょう。

なぜこのような広告が出てくるのか、その理由を考えてみましょう。

まとめ

調べる際には、様々な情報の信頼性を見きわめる必要があります。こうした際には、ぜひ「だいぶく」を意識させてほしいと思います。「④」は、「誰が言っているのか」、「⑤」は、「いつ言ったのか」、「⑥⑦」は、「複数の情報を確かめたのか」です。ネットの情報だけでなく、様々な情報も「だいぶく」で考えてると信頼性を見極めやすくなります。

よき使い手になるために

ネット上には、たくさんの情報があります。その中には、信頼性が高く、有益な情報もありますが、信頼性が低く、間違った情報もあります。たくさんの情報を見抜く際には、「だいぶく」(④: だれが言っているのか、⑤: いつ言ったのか、⑥⑦: 複数の情報を確認したのか)を意識しましょう。

チェックしてみよう

- 私は、先行事例や先行研究の調べ方を説明することができる
- 私は、調べるべきよい問いを考えることができる
- 私は、ネット上にある情報が信頼できるかどうかを発見めることができる
- 私は、検索結果の画面の中で広告かどうかを判別することができる

自動情報提供 × 社会問題

つくり手 # 自動情報提供 # 社会問題の解決

これから社会では、自分が検索しなくても、必要な情報が自動的に提供されるようになるかもしれません。こうした情報技術により、様々なデジタル・デバイド（情報格差）が改善することが期待できる一方で、例えば、自分が見たくない情報や不必要な情報が提供されてしまうなど、新たな問題の発生も考えられます。こうした社会問題の解決と新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。

これから社会では、自分が検索しなくても、必要な情報が自動的に提供されるようになります。

このサービスでは、自分が検索しなくても、必要な情報が自動的に提供されるようになります。

調べてみよう

必要な情報を提供してくれるサービスはどのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう

必要な情報を自動的に提供してくれるようになると、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？



考える

はじめに

「考える」では、るために必要なデータの集め方、考え方の「ズレ」、引用の仕方などについて学びます。探究的な学習では、様々なデータを収集して、整理しておく必要があります。また、考えたことを議論するためには、「自分の考えが絶対に正しい」と思い込まずに、「もしかしたら…」と考えることも重要です。ここでは学術的に「考え、議論する」ための基礎を身に付けましょう。

問題解決をしますときには、調べをすると、考えたり調べたりしたことの上手にまとめてることができます。ここでは、調べを使って効率的に考えたための方法と、その時に気を付けるべきことについて学びます。

最初にチェックしてみよう

私は、信頼性の高いデータを得られるようなアンケートをつくることができると思う
私は、問題を深く分析することができると思う
私は、ルールの中にあたる「ズレ」について理解していると思う
私は、「引用」をする際の条件を知っていると思う

79

アンケートの質問項目をつくろう

#考える #活用スキル #イラスト #消費者 #市民

アンケートで情報を収集するためには、アンケートの質問項目を適切に設定する必要があります。自由意思での参加はもちろんのこと、一つの質問文で二つもしくはそれ以上のことを同時に聞いている質問（ダブルバーレル質問）にならないように気を付ける必要があります。様々なアンケートを調べてみることも、質問項目の設定に役立つでしょう。

問題を解決するために、アンケート調査を行なうことがあります。しかし、アンケートの構造をきちんとそなえて、適切なデータを得ることができます。次のアンケートの問題点に○を付け、なぜ問題なのか、どのように改善すればよいかを考えてみましょう。

○市のお好きなところに関するアンケート
このアンケートは、○学校が発表の一冊で実施しています。
全員必ず回答してください。

1. ○○市の自然や食べ物は、よいと思いますか？
①とてもよい ②まあよい ③まあよくなない ④まったくよくなない

2. ○○市のよいところを教えて読んでください。
A:食べ物 B:基础设施 C:自然 D:人の運び方

3. ○○市には郵便局は置いてないのに、とても不便ですか。
郵便局をすぐ近くにほしいですか？
①そう思う ②そう思わない

問題を深く分析してみよう

#考える #活用スキル #自由記述 #つくり手

問題を深く分析できない理由の一つは、固定化されたイメージで問題をとらえてしまうことです。例えば、「子育て世代」と聞くと、「お父さんとお母さんと子どもがいるイメージ」で考えてしまいがちです。本教材では、「子育て世代」の多様さをイメージすることで、問題を深く分析する練習を行います。ライフスタイルや性格をランダムに選ばせて、いろいろな「子育て世代」をイメージさせることができます。

問題について深堀する際、「子育て世代が公園を利用できていない」ことが問題として挙げられました。この問題を深く分析するためには、「子育て世代」を具体的にイメージしてみることにしました。ライフスタイルと性格から、それぞれ年代で、子育て世代を具体的にイメージし、その家族が公園を利用できない理由を考えさせましょう。

ライフスタイル	性格
マジック .. 戸建て	社会的 .. 人柄好
子どもが一人 .. 子どもが健強	アワドア派 .. インドア派
子どもがいる家庭が多い .. 子どもがいる家庭が多い	繩張が多い .. 繩張が少ない
地元で子育て .. 地元から転職して子育て	心配性 .. 実戦的

この家族が、公園を利用できないのはなぜだろう？

ルールの「ズレ」を考えよう

#考える #情報モラル #自由記述 #消費者 #ルールづくり

自分は伝わっていると思っていても、相手に伝わっていないというときは、お互いのイメージに「ズレ」があることがあります。「きちんと」「はやく」「たくさん」などの言葉はもちろん、「学習の目的」「不適切な」「夜遅く」などもズレやすい言葉であることを理解し、それを議論することの大切さについて意識させてほしいと思います。

ルールを考える場合、ルールの中の「ズレ」を意識する必要があります。例えば、人にによってイメージがズレやすい言葉には、次のルールの「 」のようなものがあります。それぞれのズレやすい言葉について、自分の経験を考えてみましょう。

○「学習の目的」に当てはまる／当てはまらないもの
①期末試験「學習の目的」で使うこと。
②「不適切な利用」でしないこと。
③家庭で使う場合には「夜遅く」まで使わないこと。

当てはまる：	当てはまらない：
①「学習の目的」に当てはまる／当てはまらないもの	当てはまらない：
②「不適切な利用」に当てはまる／当てはまらないもの	当てはまらない：
③「夜遅く」の横界	当てはまらない：



考える

盗用を防ぐには

探究的な学習で、様々な先行事例や先行研究を集めの場合、それを自分の発表の中で紹介することもあるでしょう。その際に、適切に紹介しないと、その先行事例や先行研究を無断で自分のものとして発表した（盗用）と見なされることがあります。ここでは、引用の基礎的な知識やスキルを身に付けさせるとともに、なぜそれが重要なのかについても考えさせてほしいと思います。

考える # 情報セキュリティ・トラブル対応 # イラスト
消費者 # 市民 # 著作権の侵害

💡 盗用を防ぐには

ネットや本の表面には著作権があり、勝手に使うことはできません。
しかし、著作権法第32条では、ある条件を満たせば、自分の著作物に「公表された著作物を引用して利用することができます」と示されています。
次の文を読んで、引用するための条件（約束事）に当てはまる部分を考え、□で囲みましょう。

子どもスマートフォン（スマホ）を持つことについて、私はスマホを持つためにルールをつくことが重要だと思います。
このルールのつくワザについて、山本（2022）が、「『家庭のルールを子どもと一緒につくることで、スマホの規則も子どもと一緒に設置することができます。』と述べています。
確かに、保護者がかか的的にルールを決めるのではなく、子どもと一緒に作ることができます。子どもも守らうという風なのは、何がいいと思います。

山本あきら（2022）『スマホを子どもに持たせる前に』
○○出版、p19

まとめ

探究的な学習では、様々なデータを収集したり、整理したり、議論したりすることが多くあります。その際に、いかに信頼性の高い情報を集めるか、先行事例や先行研究を大切にした上で自分の考えの新規性を表現できるかはとても重要な力になります。自分の考えが絶対ではないことを意識しながら、考えを深めていくことの基礎を身に付けさせてほしいと思います。

💡 まとめ

よき使い手になるために

「よき使い手」には、情報を収集し、整理しておく必要があります。意識したデータの収集方法や正しい引用の仕方を学んでおきましょう。
また、自分の考え方と他の人の考え方の「ズレ」を意識しておくと、ルールづくりだけでなく、議論する際にも役立ちます。「他対応はどうう」と考え方で、「もししかしたら…」と考えてみましょう。

チェックしてみよう

- 私は、信頼性の高いデータを得られるようなアンケートをつくることができる
- 私は、問題を深く分析することができます
- 私は、ルールの中にある「ズレ」について説明することができる
- 私は、「引用」をする際の条件を説明することができる

予測 × 社会問題

人工知能（AI）の得意なことのひとつに、たくさんの情報（ビックデータ）を分析して、予測をするということが挙げられます。これから社会では、こうした予測を上手に活用し生活することはもちろんのこと、社会問題の解決にも予測が生かされることが予想されます。しかし、こうした予想からさらに新たな問題が発生することも考えられます。こうした社会問題の解決と新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。

つくり手 # 予測 # 社会問題の解決

💡 予測 × 社会問題

AI（人工知能）が得意な「考える」ことの一つに、たくさんの情報を分析し、そこから予測することが挙げられます。例えば、商品の売り上げの予測や渋滞の予測などです。

調べてみよう

● 情報を予測して教えてくれるサービスにはどのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう

● 必要な情報を予測できるようになると、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？



共有する

はじめに

「共有する」では、上手な情報の共有方法や「批判」と「非難」の違い、そしてグループチャットでの悪口をどう止めるかについて考えさせます。情報を上手に共有することは、これからの中でも重要な情報活用能力になります。情報の特性や相手のことを考え、相手がわかりやすい工夫や相手が改善しやすいフィードバックの在り方などを考えさせてください。



共有する

誰もを使うと、すぐに情報を共有したり、わかりやすく発表したりすることができます。
ここでは、上手な情報の共有の仕方や発表へのフィードバックの仕方、グループチャットでのトラブルの対応などについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、情報の性質によって情報共有の仕方を工夫することができますと思う
- 私は、発表を客観的に評価することができますと思う
- 私は、「批判」と「非難」どちらに迷うかを知っていると思う
- 私は、グループチャットでの悪口を止めることができると思う

90

情報を上手に共有するには

共有する # 活用スキル # 2分類 # 消費者
市民 # つくり手

情報共有には、「ストック情報」と「フロー情報」を意識する必要があります。身近な情報の中で、「ストック情報」にあたるものは何か、「フロー情報」にあたるものは何か、と考えさせることもおすすめです。その際、チャットをあとから遡って調べた経験などを共有させると、ストック情報として残しておいた方がよい情報のイメージがつかみやすくなります。



情報を上手に共有するには

情報を共有する際に意識するのが、ストック情報とフロー情報です。
ストック情報とは、後から何度も活用する「蓄積して活用する情報」のことです。フロー情報とは、その場限りで共有する「即興的に活用する情報」のことです。
次の情報をストック情報とフロー情報に分けてみましょう。

これまで調べた資料	先ほど実際に使われた発表用の変遷に関する情報	バッと思いついたアイデア	講習の参考となるURL	今日の部活の時刻表を伝えたい情報
-----------	------------------------	--------------	-------------	------------------

ストック情報 A | フロー情報 B

発表を客観的に評価してみよう

共有する # 活用スキル # 自由記述 # 市民 # つくり手

探究的な学習では、途中や最後に発表会を行うことがあります。発表を客観的に評価するためには、ルーブリックを作成する必要があります。本教材では、3つの評価規準と評価基準を考えて、実際に評価を行う内容になっています。様々な発表会で本教材を使っていただき、客観的な評価の難しさと重要性について実感させてください。



発表を客観的に評価してみよう

あなたのクラスでは、「発表のよさ」について調べたことを発表することになりました。
各自が5分で発表を行います。あなたどのように評価を行うか、評価指標を3つ考えてみましょう。

評価項目	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
2班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
3班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
4班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
5班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
6班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
7班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
8班	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C

A:とてもよい B:ふつう C:いまいち

評価項目のヒント

- ・声の大きさ・綿密なやり方・発表時間・わかりやすさ
- ・創造性（おさげがあったか）・自由性（身にたつたか）・根拠の有無

批判と非難はどう違う？

共有する # 情報モラル # 2分類 # 消費者
市民 # コミュニケーションのトラブル

誰かの発表にフィードバックをする際、「つまらなかった」「よくない発表だった」「もっとよく考えた方がよい」などというフィードバックでは、どこをどのように修正すればよくなるのかがわかりにくく、発表者側の学びにつなげることが難しくなります。こうした「非難」的なフィードバックではなく、きちんと修正箇所を明示するような「批判」的なフィードバックの方法を身に付けさせてほしいと思います。



批判と非難はどう違う？

クラスの友達の発表を見たり、ネット上で他の意見を見たりした際に、自分の意見をコメントすることができます。
しかし、そのコメントが、「批判」となるのか、「非難」となるのかは違いがあります。
批判と非難の違いを考えながら、次のコメントを批判と非難に分けてみましょう。

1:発表がつまらなかつた	2:声が小さいのでちょっと大きめで発表してほしい	3:裏面内容と先行事例との繋がりが弱い	4:もっとよく考えた方がよいと思う	5:よくない発表だった
--------------	--------------------------	---------------------	-------------------	-------------

批判 A | 非難 B



共有する

チャットの悪口、どう止める？

クライスマネジメントでは、「自分が悪口を言わいたらどうするか」という視点も重要ですが、「自分以外の他者が悪口を言われている時に、どう対応するか」も重要な視点です。こうした場合、ついついチャットの中だけで解決方法を考えがちですが、リアル（対面場面）も含めてどう対応すればよいかについて考えさせてほしいと思います。

#共有する #情報セキュリティ・トラブル対応 #自由記述
#消費者 #市民 #コミュニケーションのトラブル

まとめ

端末を使って共有や発表をする際には、相手のことを意識する必要があります。情報の特性や相手のことを考え、相手がわかりやすい工夫や相手が改善しやすいフィードバックの在り方などを考えさせるために、ぜひ50分版の「自分と相手とのちがい」や「こんなつもりじゃなかったのに」も活用をご検討ください。

五感の共有 × 社会問題

#つくり手 #五感の共有 #社会問題の解決

これからの社会では、目（視覚）や耳（聴覚）以外の五感（嗅覚、味覚、触覚）を共有することができるかもしれません。こうした情報技術により、様々なデジタル・デバイド（情報格差）が改善することが期待できる一方で、例えば、自分が感じたくない感覚を共有できてしまうなど、新たな問題の発生も考えられます。こうした社会問題の解決と新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。



はじめに

「つくる」では、上手なスライドのデザインの方法、著作権や知的財産権などについて学びます。著作権や知的財産権では、他の権利を尊重するだけでなく、自分の権利をしっかりと保護していくことも求められます。何か新しいモノ・コト・サービスをつくるためには、権利の保護も重要なことを意識させてほしいと思います。



つくる

誰でも使うと、わかりやすい発表スライドをつくることができます。
しかし、その時に手に余るの著作権を守ることがないように気をつけたり、自分の著作物を勝手に使わることがないように気をつけたりする必要があります。
ここでは、上手にデザインするための方法や、作者や自分の著作物の権利について学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、上手に発表スライドをデザインすることができると思う
- 私は、発表スライドのタイトルを上手につけることができると思う
- 私は、著作権が何のためにあるのかを知っていると思う
- 私は、知的財産権の「著作権」と「商標権」について知っていると思う

101

見やすいデザインを考えよう

#つくる #活用スキル #イラスト #消費者 #市民 #つくり手

本教材では、わかりやすく、見やすい資料をつくる際のポイントについて学びます。色の数やコントラストについて学ぶことで、色弱や色覚異常の方への配慮についても考えさせ、カラーユニバーサルデザイン（色使いに配慮したユニバーサルデザイン）などについて調べさせるとより効果的な学習になります。



見やすいデザインを考えよう

よりよい発表資料をつくるためには、内容はもちろん、デザインも工夫する必要があります。
次の発表スライドの問題点を考え、よりよい発表スライドにするための工具を考えてみましょう。

○○市をもっとよくするために

○○市には、多くの自然があり、食・物・おおいしく、人が温かいといふべきあります。

調査では、交通の不便さの指摘が多いといふ結果になりました。

○○市をよくするためには、バスを増やして、交通の不便さを解消することが重要になります。

タイトルを考えよう

#つくる #活用スキル #自由記述 #つくり手

スライドでまとめた内容を発表する際、どのようなタイトルで発表すればよいかは重要な問題です。どのような人が聞くのかという相手意識を持たせ、その人たちが興味を持ちやすいタイトルをつくるためには、どのような点に着目すればよいかを考えることがポイントです。特に、数字やエピソードなどは印象に残りやすい点を紹介するとよいでしょう。



タイトルを考えよう

地域のケーキ屋さんについて調べることをスライドにまとめて、地域の人向けに発表することになりました。スライドの構成を練り直したことごとく、以下のようになります。

ページ	各スライドのタイトル	各スライドの内容
1	ケーキ屋さんの名前／取材した人	ケーキ工房／鶴川太郎さん
2	ケーキ屋さんの場所	○○市の駅近く
3	ケーキの特徴	地元の有機農園のフルーツを使用。甘さ控えめなクリーム
4	一番人気のケーキ	イチゴのショートケーキ(1個あたり100円)（1日100個売れる）
5	ケーキ屋さんお店のきっかけ	もともと鶴川さんはイタリアで、妻さんがパティシエだった
6	ケーキ屋さんの魅力	地元のフルーツを知ってほしい。子どもも美味しい
7	エピソード	1ヶ月たとくさんケーキつくって練習をケガしたことがある

このスライドを使って発表する場合の発表のタイトルを考えてください。

発表タイトル

著作権は何のため？

#つくる #情報モラル #自由記述 #消費者 #市民 #つくり手 #著作権の侵害

マンガ家の作品を違法に公開した場合、困るのは誰でしょうか？多くの生徒達は、「マンガ家」や「出版社」と答えるでしょう。勝手に公開する→マンガ家にお金が入らない→出版社にもお金が入らない→印刷会社にもお金が入らない、そうなると最終的に困るのは誰でしょうか？実は創作活動が行われないことによって一番困るのは、それを読む人たちであることに気付かせてほしいと思います。



著作権はなんのため？

著作物とは、「思想又は感情を創作的に表現したもので、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」となりますが、こうした著作物を違法にコピーすると、誰が困るでしょうか。
マンガ家の作品を法律が著作権で勝手にアップロードした場合、どのような人が困るのか考えてみましょう。

マンガを勝手にアップロードした

▼ 書が読める？

▼ 書が読める？

▼ 書が読める？

▼ 書が読める？



つくる

知的財産をどう守る？

知的財産権には、主に文化的なものを保護する「著作権」と産業的なものを保護する「産業財産権」があります。生徒達が産業的なモノを創作した場合には、自然発生的に保護される著作権と違い、産業財産権としての申請が必要になります。こうした権利を上手に使い、自分の創作物をきちんと保護していくことの重要性についても考えさせてほしいと思います。

#つくる #情報セキュリティ・トラブル対応 #2分類以上
#消費者 #市民 #つくり手 #知的財産権の侵害

まとめ

著作権を侵害した場合は、10年以下の懲役または1,000万円以下の罰金（またはその両方）が科されることになりますが、なぜそのような重い罰則かといえば、それだけ新しいアイデアや作品をつくることを重視しているからです。ぜひ新しいアイデアや作品をつくることの重要性を考えさせてほしいと思います。

音声・ジェスチャー × 社会問題

#つくり手 #音声・ジェスチャー操作 #社会問題の解決

これからの中では、キーボードやタッチペンなどの入力以外に、音声やジェスチャーでの入力が主流になってくるかもしれません。こうした情報技術により、様々なデジタル・デバイド（情報格差）が改善することが期待できる一方で、例えば、常に音声が記録されてしまいセキュリティ上の問題が発生することも考えられます。こうした社会問題の解決と新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。



交流する

はじめに

世界中の多様な人たちと「交流」するためには、自分の「当たり前」を見直す必要があります。また、多様な人たちの中には、誰かを騙そうとしている人もいるという意識を持ち、リスクに対応する力を身に付ける必要があります。ここでは、自分の当たり前（アンコンシャスバイアス）を見直すとともに、リスクに対応する方法を考えます。

交流する

誰かを騙さず、世界中のひとと交話することができます。
しかし、世界中のひとと交話できるからこそ、自分のつもっている「当たり前」が本当に世界中の人にあって「当たり前」なのかな、どこで自分の情報を教えてよいのかなどを考える必要があります。
ここでは、上手に交流するために意識することや気付けることについて学びます。

[最初にチェックしてみよう](#)

私は、自分のつもっている「当たり前」について意識することができていると思う
 私は、たくさん人の意見を上手にまとめることができると思う
 私は、自分のために自分の情報をどこまで伝えていいかがわかっていると思う
 私は、自分のこれまでの経験について意識することができていると思う

112

多様な人たちと交流しよう

交流する # 活用スキル # 自由記述 # 消費者 # 市民

多様な人たちと交流するためには、「自分自身で気付いていない偏った物事の見方や考え方（アンコンシャスバイアス）」に気付き、「男だから」「女だから」と考えないかどうかを見直すことが必要になります。そのほかにも、「若手だから」「ベテランだから」「子供がいるから」「結婚していないから」など、ついつい自分が持ってしまっている見方や考え方方に気付かせてほしいと思います。

多様な人たちと交流しよう

誰かを使ふと、自分と同じ年齢の人だけでなく、異なる人や外国人ルーツをもつ人など、多様な人たちと交流を楽しむことができます。そのためには自分のつもっている「当たり前」や「思い込み」を意識しておくことも必要になります。
自分が「当たり前」と思い込んでいることは、「どのようなことがあるでしょうか」

性別 性別が近くことは恥ずかしいと感じる
性別 ブラジルから来た人はサッカーが得意だらう

新しいアイデアを生み出す交流のまとめ方

交流する # 活用スキル # 自由記述 # つくり手

アイデアを出し合った内容をまとめる際には、同じものをまとめるといった方法をとることが一般的です。よくこれを「KJ法」と呼ぶことがあります。KJ法は単に分類、整理するための方法ではなく、あくまで「発想法」になります。本教材は、厳密なKJ法の手法とは異なりますが、同じものをまとめるだけでなく、新しい構造を考えるといった視点で取り組むことがポイントになります。

新しいアイデアを生み出す交流のまとめ方

意見を交換し、意見をまとめる際に、あえていつもとは違うまとめ方をしてみると、新しいアイデアが出やすくなる場合があります。新しいまとめ方からアイデアを考えてみましょう。

地域の活性化をテーマに、○○市のおいしいものまとめのまとめ方

新しいまとめ方
・ サッカー
・ もち
・ 梨
・ キャベツ
・ 桃
・ 海
・ 山
・ 道道
・ 水泳

よくまとまつの方
・ サッカー
・ もち
・ 梨
・ キャベツ
・ 桃
・ 山
・ 道道
・ 水泳

新しいまとめ方
・ サッカー
・ もち
・ 梨
・ キャベツ
・ 桃
・ 山
・ 道道
・ 水泳

どんなアイデアが考えられますか？

どこまで伝えてよいのかな？

交流する # 情報モラル # 並び替え # 消費者 # 市民 # 出会い

ここでは、「教えるか／教えないか」の0か1かの指導ではなく、「だれに教えたら、どの程度のリスクがあるのか」を考えさせることで、リスクを見積もる力を養います。判断した結果だけではなく、そう判断した理由も共有するとよいでしょう。アイコンやフォロワー数、プロフィール文などからリスクを想像させ、最終的にはアイコンの顔写真やプロフィールがウソである可能性もあることを伝えてください。

どこまで伝えてよいのかな？

誰かを使ふと、様々な人と交流することができます。自分の情報をどこまで伝えてよいのかは、そのリスクも踏まえて考えなければなりません。

あなたは、同じアドバタイルグループ（BSK）を応援するサイトで知り合った人たちから、「あなたの連絡先を教えて」と言われました。どこまで教えてよいのか、リスクを踏まえて考えてみてましょう。

1. いちご
2. みき
3. ひなこ
4. ブラウン
5. ハンターハン

リスク小／問題ない ← → リスク大／かなり危険



共有する

交流する

セキュリティを見直そう

世界中の人と交流できるということは、世界中の人があなたの端末やスマホ、タブレット等の情報を見ることができるということであり、中にはその情報を狙っている人がいるかもしれません。「悪意がある人がいる」ことも忘れずに、セキュリティ対策やウイルス対策ソフト・OSのアップデートの重要性について気付かせてほしいと思います。

#交流する #情報セキュリティ・トラブル対応
#1つ選択 #消費者 #セキュリティのトラブル

 **セキュリティを見直そう**

様々な人と交流するからこそ、セキュリティを意識しておく必要があります。
次の内容のうち、当てはまるものにチェックを入れてみましょう。

① パスワードに生年月日など重複されやすい文字を入れている。
 ② 無料のアプリは、内成者や監視者など気にせずインストールしている。
 ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れていない。
 ④ 自分のスマホにはブロック者のリストを設定していない。
 ⑤ 喜びの通販サイトやソーシャルサイトをよく利用する。
 ⑥ 公衆無線LAN（無料Wi-Fi）によくアクセスする。
 ⑦ パスワードは、全てのNFT同一のものを使用している。
 ⑧ 運営メッセージに変更したことがある。
 ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新したことがない。
 ⑩ スマホで「ウイルスが見つかりました」と表示されたことがあります。

まとめ

端末を使うと様々な人と交流することができますが、顔が見えない相手との交流には便利さとともに難しさもあることに気付いてほしいと思います。特に、相手の顔が見えないと、自分の都合のよいように感情や状況を想像してしまいがちですが、いろいろな可能性を想像することの重要性に気付かせ、どのようなことに気を付けるとよりよい交流ができるかを考えさせてほしいと思います。

 **まとめ**

よき使い手になるために

自分の進歩やアクションからたくさんの人と交流できるということは、たくさんの人たちもあなたの進歩やアクションにアクセスすることができます。たくさんの人の中には、「悪意を持ついる人」もいることを忘れずに、自分の情報をどこまで伝えていいかやセキュリティに対する意識をもう一度確認してみましょう。

チェックしてみよう

- 私は、自分がもっている「ハタチ前」について意識することができている
- 私は、たくさん人の意見を上手にまとめることができる
- 私は、うるさい人に自分の情報をどこまで伝えていいかを説明することができている
- 私は、自分の進歩のセキュリティについて意識することができている

メタバース × 社会問題

#つくり手 #メタバース #社会問題の解決

メタバースとは、コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービスのことで、「超（Meta）」と「宇宙（Universe）」を組み合わせた造語です。例えば、手や足が不自由でも3次元の仮想空間では自由に移動することができるなど、現実の格差を改善できる可能性を秘めています。ここでは、メタバースの現状を調べるとともに、どのような社会問題の解決に寄与できるか、そしてそこで発生する新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。

 **メタバース × 社会問題**

現在、仮想空間での交流が注目されています。
例えば、メタバース（ネット上の仮想空間）では、ユーザーがアバターを操作して他のユーザーと交流するなど、仮想空間での社会生活をることができます。

調べてみよう メタバースを活用するサービスにはどのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう メタバースが実現すると、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？



家で使う

はじめに

「家で使う」ためには、自分で自分を律しながら使う「自律」の力が求められます。特に、時間の使い方については、ついつい長時間利用しがちになってしましますので、自分で時間を管理する（タイムマネジメント）力が必要となります。ここでは、上手に学習に使う方法とともに、タイムマネジメントの力を身に付けさせます。

端末は、学校だけでなく、家庭でも使うことができます。
端末を効率的に使うは、学習や生活を便利にすることができますが、端末を使いすぎてしまうこともあります。
ここでは、家庭での効率的な端末の使い方と「使いすぎ」を防ぐための「自分で時間を管理する力（タイムマネジメント）」について学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、端末を学習や生活のために効率的に使う方法を知っていると思う
- 私は、生成AIは上手に使うことができると思う
- 私は、端末を使いすぎないように、「自分で時間を管理すること」ができると思う
- 私は、自分が端末で「使いすぎてしまつ理由」を理解していると思う

123

学習で上手に活用しよう

家で使う # 活用スキル # 自由記述 # 消費者 # 市民 # つくり手

ここでは、学習で上手に端末を活用するための方法を考え、共有させます。様々なコンテンツやWEBサービスなどがありますので、どんなものをどんな学習に利用できるのかを考えさせ、有効なツールや使い方をどんどん共有させてほしいと思います。ただし、その際には健康面や課金についても意識させるとよいでしょう。

端末を活用することによって、学習を効率的に進めることができます。
皆さんに行っている学習での端末の活用方法や、これからやってみたい活用方法を共有してみましょう。

例① 使用歴記録アプリを使って時間管理
Aさん・中学生3年生
Aさんは毎日スマートフォンの使用時間を記録していく習慣です。そのため、どのくらいの時間を使おうかそれまでのアドバイスをしていくかがわかるので、自分の時間の使い方について勉強きっかけになり、時間の管理がよくなります。

例② 海外ニュースアプリを使って英語学習
Bさん・高校2年生
Bさんは毎日英語のニュースアプリを使って日々のニュース記事を読みながら、ニュース動画を観たりしています。興味があればだけでなく、世界慣習を分かることで社会の動向にもなっています。

自分が行っている学習での活用方法

これからやってみたい活用方法

生成AIを保護者と一緒に体験してみよう

家で使う # 活用スキル # 実技 # 消費者 # つくり手

生成AIを上手に活用するためには、「プロンプト」と呼ばれる指示や命令文が重要になります。例えば、目的を説明したり、役割や場面を設定したりすると、よりよい内容を出力してくれます。ただし、出力された内容には、間違いが含まれていることもあります。内容をきちんと確認することの重要性にも触れ、利用年齢などのルールを守って保護者と一緒に活用することを強調してください。

あなたは、小学校5年生向けにクイズをつくることになりました。
よいアイデアが浮かばなかったので、保護者と一緒に生成AIを使って、クイズをつくることにしました。

クイズをつくって

命令文
例) 4折でつくって

タイムマネジメントを身に付けよう

家で使う # 情報モラル # 実技 # 消費者 # 長時間利用

タイムマネジメントの基礎は、①やることを書き出す、②どのくらいでできるかの時間を予想する、③やる順番を考える、ですが、この中で一番難しいのは②の時間の予想です。これは経験を積み重ねることでしか、上手になる方法はありません。普段から、「これにどのくらいの時間がかかるかな」と予想させ、実際に測ってみることを通して、時間を予想する力を育ててほしいと思います。

端末を使いすぎて、日常生活に影響が出ないために、「自分で時間を管理する力（タイムマネジメント）」が必要になります。
タイムマネジメントの基礎は、①やることを書き出す、②どのくらいでできるかの時間を予想する、③やる順番を考えるですが、この中でも特に難しいのが「どの時間で予想する」ことです。
次の内容について、あらかじめ時間を作ったうえで、実際に測ってみましょう。

項目	予測	実際		
① 自分の名前を10回書くのにかかる時間	分	秒	分	秒
② 朝食の7の段を書くのにかかる時間	分	秒	分	秒
③ 友達の良いところを考えるのにかかる時間	分	秒	分	秒



使いすぎてしまう時は

スマホなどを使いすぎてしまうのは、コンテンツやサービスが「楽しい」からだけではありません。何か不安なことからの逃避や友達との人間関係など、様々な要因が考えられます。まずは生徒達自身にその要因を考えさせるとよいでしょう。また、ぜひ50分版の「生活を見直そう」も活用をご検討ください。一緒に実施すると効果的です。

#家で使う #情報セキュリティ・トラブル対応
#チェック #消費者 #つくり手 #長時間利用

学校や家庭において、端末を上手に使うためのルールがあるにも関わらず、どうしてもスマホやタブレット、コンテンツやサービス（例えば、ゲーム、SNS、動画共有サイトなど）を使いすぎてしまうのはなぜでしょうか。スマートフォンやタブレット、コンテンツやサービスを使いすぎてしまうのはなぜか、当てはまるものにチェックを入れてみましょう。

環境的な要因	<input type="checkbox"/> 注意してくれる人がいないから	<input type="checkbox"/> ひとりで過ごすことが多いから
	<input type="checkbox"/> 実に夢中になることがないから	<input type="checkbox"/> その他（ _____）
心理的な要因	<input type="checkbox"/> 不安やストレスを忘れたいから	<input type="checkbox"/> やることを繰り返してしまったり
	<input type="checkbox"/> 無むしやすいから	<input type="checkbox"/> その他（ _____）
対人的な要因	<input type="checkbox"/> 友達からゲームにいそわれるから	<input type="checkbox"/> 友達が何をしているか気になるから
	<input type="checkbox"/> 友達からメッセージがたくさん届くから	<input type="checkbox"/> その他（ _____）

まとめ

自分で時間を管理する（タイムマネジメント）力は、これから情報社会で必要となる情報活用能力になります。特に、「やること」だけでなく、「やりたいこと」も考えておくと、余った時間や空いた時間などを有効に活用することができます。ぜひ「やること」のリストだけでなく、「やりたいこと」のリストを作成させてほしいと思います。

端末を学習や生活に使う際に効果的なコンテンツやサービスを、友達と共に共有してみましょう。友達はもっと便利な使い方を知っているかもしれません。また、自分で時間を管理する力（タイムマネジメント）は、これから情報社会を生きる上で必須となる力です。ぜひ、「やること」のリストと「やりたいこと」のリストを作成し、時間を効率的に使いましょう。

チェックしてみよう

- 私は、端末を学習や生活のために効果的に使う方法を説明することができる
- 私は、端末を上手に使うことができます
- 私は、端末を使いすぎないように「自分で時間を管理すること」ができる
- 私は、自分が端末を「使いすぎてしまう理由」を理解している

6G × 社会問題

#つくり手 #6G #社会問題の解決

6Gとは、第6世代移動通信システム（6th Generation Mobile Communication System）の略で、「高速・大容量」「低遅延」「多数接続」などの5Gの性能をさらに高めるものとして研究開発が進んでいます。ここでは、6Gの現状を調べさせるとともに、どのような社会問題の解決に寄与できるか、そしてそこで発生する新たな問題についても考えさせるとよいでしょう。

現在、端末などの高速大容量の通信規格として5G（5th Generation）が主流になっていますが、すでにその次の世代である「6G」の研究開発も行われています。

調べてみよう ➔ 6G時代と6Gを活用するサービスにはどのようなものがあるだろうか？

話し合ってみよう ➔ 6Gの実現になると、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？

Yahoo!きっず

「未来を担う子どもたちにインターネットの楽しさを！」この思いから、1997年にYahoo!きっずが誕生しました。教育現場や家庭で広く活用していただくことで、正しいインターネット利用の促進や、子どもたちの未来の可能性を大きく広げるお手伝いができる事を、目指しています。

YAHOO! きっず
JAPAN

コンテンツの一例



Yahoo! きっず検索

フィルタリングを行い、子どもたちにとって不適切なページが表示されない仕組みを導入しています。

キーボードのタイピングに不慣れなお子さま向けに、マウスで言葉を選択できるソフトキーボードも用意しています。



マンガで学ぼうAIガイド

AI（人工知能）について、マンガを使って楽しく学べるコンテンツです。最近話題になっている生成AIを含めたAIのしくみや、身近な活用例、利用についての問題点などを掲載。ワークシートも用意しているので、授業でもご活用いただけます。



ココカラ学園

ココロとカラダのことを学べる「ココカラ学園」「こころ」や「からだ」を知ることは、生きていくためにとても大事なこと。教員の皆様向けのワークシートや動画もご用意しております。

他にも多数のコンテンツを用意しています。

<https://kids.yahoo.co.jp/>

やふーきっず

検索

AIチャレンジ



探究学習でAI活用人材を育成する

日本は超高齢社会・労働人口減少など、さまざまな社会課題を抱えており、これらを解決するためにソフトバンクでは、AI活用人材の育成に取り組んでいます。

AIチャレンジは、探究に求められる「発想力」「テクノロジー活用力」「実装力」の3つの力を身につけることで、これからの中高生が牽引する次世代の担い手たちを育成する教材です。



ハルシネーションを回避

生成結果は参考の一つに過ぎず、最終的には自分で判断する

もっともらしい
嘘を見抜く
ファクトチェック
(生成された情報の真偽を確かめる)

- どの時点の情報か確認する
- 検索して事実を確認する
- 検算して数値を確認する

※ 他者が発信した情報のファクトチェックについては第2部で解説

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

AIを知る

社会で使用されているAIに関する知識を正しく備え、AIによって変化する職業や仕事について理解します。また、生成AIによるフェイク情報などトラブルの危険性に対し、ファクトチェックの方法とAI倫理を学びます。

AIチャレンジの各Unit内で積極的に用いる	
ChatGPTを活用して探究的な学びのクオリティを高める	
Unit 2 AI活用企画をつくる	課題をロジックツリーでまとめる プレゼンテーション資料をつくる AI活用企画を講評する
Unit 3 AI構築を体験する	予測系AIのサンプルデータセット生成 学習テーマに応じた確認問題と解説 AI用語の解説
Unit 4 AIを役立てる	プロジェクト推進アシstant ソースコードの解説 システム評価アンケート項目の作成

AIを使いこなす

実際にAI構築環境を使用してAIをつくる体験と、社会課題に対してAI活用システムを企画・設計・実装・評価する一連の流れで、探究学習に必要なスキルの習得を行います。さらに、これらの活動の中で生成AIを活用し、個別最適な学習支援を得る方法を身につけます。



<https://www.softbank.jp/corp/sustainability/special/ai-challenge/>

全国統一 スマホデビュー検定



考え方 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの
情報モラル育成に取り組みます



文部科学省

この検定は、スマホデビューする上でぜひとも知っておいてほしい知識を、身につけてもらうための検定です。

合格を目指し、ぜひ親子でチャレンジしてみてください！

受検はこちら！（受検料無料）



<https://ymobile.jp/s/Ew7uH>

監修者紹介



藤川大祐

千葉大学教育学部 教授・教育学部長 文部科学省「ネット安全安心全国推進会議」委員や内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」座長代理などを歴任。メディアリテラシー教育の第一人者。

問題のイメージ

⌚ 00:21.90

インターネットを使っていたら、急にこのような画面が出てきました。そのときにするべきこととして正しいものを選んでください。



A ウィルスを取り除くためすぐにダウンロードする

B 画面に出ていた問い合わせ先にメールする

C 画面を開いたままおうちの方に相談する



GIGAワークブック みやざき 活用の手引

初 版

発 行 日 2024年3月31日

制 作 宮崎県教育委員会
一般財団法人LINEみらい財団
静岡大学教育学部准教授 塩田真吾
常葉大学教育学部講師 酒井郷平
アラサキデザインスタジオ

協 力 ソフトバンク株式会社
LINE ヤフー株式会社

LINE みらい財団

SoftBank

YAHOO! JAPAN きっず

- ・本教材は、東京都教育委員会と一般財団法人LINEみらい財団との共同研究による成果物「SNS東京ノート」をベースとしてGIGAスクール構想に対応した内容を加えています。
- ・本教材の著作権は、一般財団法人LINEみらい財団が保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。これ以外での2次利用はおやめください。